

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-110	高等学校	情報	社会と情報	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
7 実教	社情311	最新社会と情報 新訂版		

## 1. 編修の趣旨及び留意点

- ・ 道徳心を培うために、ネット上でのマナーやモラルの事例を多く扱うように留意した。
- ・ 社会の発展に寄与する態度を養うために、自分や他人の権利を知り、それらを尊重するとともに、その権利を守りながら正しく利用するための法律や制度を多く扱うように留意した。
- ・ 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うために、普段接しているメディアや情報機器ネットワーク、セキュリティ等の仕組みを載せるように配慮した。

## 2. 編修の基本方針

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健康やかな身体を養うこと。	・ 普段接しているメディアや情報機器ネットワーク、セキュリティ等について、その仕組みを学習することにより、論理的な考え方を養うとともに、幅広い知識を身に付けられるように配慮した。
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	・ アイデアや情報を可視化するために、具体的な題材を取り上げてメディアの利用方法を学習させるとともに、社会の中での利用実態を示唆した。 ・ 知的財産権を扱うことにより、創作活動による個人の権利や利益だけでなく、文化や産業・経済の発展につながることにについて扱った。
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	・ 情報社会のメリットとデメリットを示し、技術やサービスの功罪を考えさせることで、情報社会も実社会と同じように、他者を労り危険を回避する必要があることを実感させ、また、匿名性や信憑性などについてのインターネット特有の問題点を気付かせるようにした。
第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	・ CO <sub>2</sub> 削減など具体的な環境問題を題材として扱うことにより、自然環境に関心をもったり、積極的に行動したりするように配慮した。
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	・ インターネットを通じてのコミュニケーションや、いろいろな人が利用できるような情報システム構築のための考え方を学ぶことで、国際社会の発展に貢献する心構えを体得できるようにした。 ・ 著作物などについての意義を扱うことにより、個人の権利や利益だけでなく、文化の発展や産業・経済の発展について取り上げた。

### 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1 章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳心を培うために、情報モラルや社会のルールについての題材を多く扱った（1号）。</li> </ul>	11 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真理を求める態度を養うために、例題の解答例を理解しやすいように図解した（1号）。</li> </ul>	12 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うために、例題には考え方や解答例、考察などを載せるように配慮した（2号）。</li> <li>・個人の価値を尊重する態度を養うために、著作権などの知的財産権の題材を多く扱うように留意した（2号）。</li> </ul>	24 頁 30 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共の精神に基づき、主体的に社会に参画するために、情報モラルや社会のルールについての題材を多く扱った（3号）。</li> <li>・情報化の光と影を示し、技術やサービスの功罪を考えさせることで、正義と責任についての考えを養えるようにした（3号）。</li> </ul>	8-9 頁 11 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現メディアの特性を学ぶことにより、危険を知らせる緊急時の情報伝達の問題点を気付かせるようにした（4号）。</li> <li>・スマートフォンに搭載されている長寿命化したりチウムイオン電池を載せることで、環境の保全に寄与する態度を養えるようにした（4号）。</li> </ul>	14 頁 31 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・著作物の利用を学ぶことにより、伝統と文化を尊重しながら、創作活動を円滑に進めることができる態度を養えるようにした（5号）。</li> </ul>	36-37 頁
2 章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にある情報機器の仕組みを理解することにより、幅広い知識を身に付けられるように配慮した（1号）。</li> </ul>	41 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真理を求める態度を養うために、身近に使用している情報機器のソフトウェアの働きを図解化してわかりやすく解説をした（1号）。</li> </ul>	42 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両目視差が生じるように映像を提示して立体視させる3D用の映画、テレビ番組の仕組みを学習させることにより、社会の中での利用実態を示唆した（2号）。</li> </ul>	61 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うために、情報のデータ量を求める問題の解答例では解答の手順を載せた（2号）。</li> </ul>	62 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力を重んずる態度を養うために、タブレットやスマートフォンの機能の問題点についてグループで話し合う問題を載せた（3号）。</li> </ul>	45 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の発展に寄与する態度を養うために、文字や記号を表現する文字コードの仕組みを載せた（3号）。</li> </ul>	52 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を大切にすることを養うために、デジタルカメラで学校の風景を撮影する題材を載せた（4号）。</li> <li>・ネットワークの負荷軽減や電力消費を抑えるためにデータ量を減らす圧縮の仕組みについて載せることにより、環境を保全する態度を養えるように配慮した（4号）。</li> </ul>	44 頁 47 頁
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3Dプリンタで土偶を出力した写真を扱い、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした（5号）。</li> <li>・携帯端末で使用される絵文字を載せることにより、伝統と文化を尊重できる態度を養えるようにした（5号）。</li> </ul>	40 頁 53 頁	

3章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「引用」「転載」について詳しく解説し、モラルやマナー等の道德心を培い、幅広い知識を身に付けられるように配慮した（1号）。</li> </ul>	73 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山や神社など、風景写真を載せることにより、豊かな情操を養えるように配慮した（1号）。</li> </ul>	100 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書作成やプレゼンテーションの作成に関する幅広い知識を身に付け、これらが社会で役立つことを示し勤労を重んじる態度を養えるようにした（1号、2号）。</li> <li>・「引用」「転載」について詳しく解説することで、論文を作成する際の自学自習としての自主及び自律の精神を養えるように配慮した（2号）。</li> </ul>	68-75 頁, 94-103 頁 72 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭の案内状の対象を保護者・地域の住民・近隣の小学生として、自他の敬愛や社会の形成に参画する態度を養えるようにした（3号）。</li> <li>・主体的に社会の形成に参画する態度を養うために、資料の中から目的に合った情報を取り出せるように、様々なグラフの目的を詳しく解説した（3号）。</li> </ul>	67 頁 90 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平均気温と降水量の自然現象をグラフにして扱い、自然を大切にする態度を養えるようにした（4号）。</li> <li>・スライドショーの事例として「日本の四季」を扱い、自然を大切にする態度を養えるようにした（4号）。</li> </ul>	90 頁 99 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国と郷土を愛する態度を養うために、日本の年齢区分別の人口を表したグラフを載せた（5号）。</li> <li>・動画のテーマには「見慣れた風景」を取り上げ、郷土を愛する態度を養えるようにした（5号）。</li> </ul>	92 頁 102 頁
4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの発達の歴史を図解で掲載し、真理を求める態度を養えるようにした（1号）。</li> <li>・ネットワークコミュニケーションの仕組みを解説して、幅広い知識と教養を身に付けられるようにした（1号）。</li> </ul>	106-107 頁 110-127 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主及び自律の精神を養うために、ファイルの転送時間を求める問題の解答例では解答の手順を載せた（2号）。</li> <li>・情報セキュリティポリシーの必要性や目的を取り上げ、社会や企業との関連を示し勤労を重んずる態度を養えるようにした（2号）。</li> </ul>	124 頁 134-135 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・側注に「モラル NAVI」「ルール NAVI」を適宜設けて補充解説をし、正義や責任を重んずる態度を養えるようにした（3号）。</li> <li>・学校生活で役に立つネットワークを用いたコミュニケーションの使い方を共有する問題を載せることにより、協力を重んずる態度を養えるように配慮した（3号）。</li> <li>・主体的に情報社会に参画する態度を養えるように、パケット交換方式についてインターネットを使用して調べる例題を扱った（3号）。</li> </ul>	109 頁-123 頁 113 頁 115 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークの負荷を軽減するために通信方式が移り変わってきたことを扱うことにより、環境の保全に寄与する態度を養えるようにした（4号）。</li> <li>・データを正確に転送する工夫や効率的に転送する工夫が情報機器の負荷削減となることを載せたことにより、環境の保全に寄与する態度を養えるようにした（4号）。</li> </ul>	114 頁 124 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの発達の歴史を図解で取り上げ、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした（5号）。</li> <li>・ギリシア神話の「トロイの木馬」を扱うことで、伝統と文化を尊重し、また、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにした（5号）。</li> </ul>	106-107 頁 128 頁

5章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段接している情報システムの仕組みを学習することにより、幅広い知識を身に付けられるように配慮した（1号）。</li> </ul>	138 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識を身に付けられるように、参考としてクラウドコンピューティングを扱った（1号）。</li> </ul>	141 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信システムの発達により形成された情報システムを扱うことにより、生活との関連を重視するように配慮した（2号）。</li> </ul>	138 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主及び自律の精神を養うために、Web サイトの制作の解答例では解答の手順を載せた（2号）。</li> </ul>	158 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人にやさしい情報システムについて、実際の利用方法を学習させることにより、その必要性があることを実感させて、公共の精神を養えるようにした（3号）。</li> </ul>	142-143 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共の精神に基づき、主体的に社会に参画するために、情報社会の課題において、サイバー犯罪例を扱った（3号）。</li> </ul>	144-145 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフトウェアを用いた統計処理において、空気中の二酸化窒素の濃度を測定する例題を載せることにより、自然を大切に、環境保全に寄与する態度を養えるように配慮した（4号）。</li> </ul>	150 頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な環境問題の題材として地球温暖化の原因を扱うことにより、自然環境に関心をもったり、積極的に行動したりするように配慮した（4号）。</li> </ul>	154 頁
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本で発明された二次元バーコードを載せることにより、伝統と文化を尊重する態度を養えるように配慮した（5号）。</li> </ul>	139 頁	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決の実践として地球温暖化防止を題材として扱うことにより、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにした（5号）。</li> </ul>	148 頁	

#### 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・コンピュータの基本構成や情報処理の基本的な知識をさらに発展させて、情報機器を適切に扱えるように、実践的に活用するための資質を養えるようにした。
- ・情報社会へ積極的に参画していく態度を身に付けさせるために、情報社会に関係の深い法律など、専門的な知識を習得できるようにした。
- ・広く深い理解と健全な批判力を養うために、情報の信頼性や信憑性を評価する方法を学び、社会の発展に寄与する態度を養えるようにした。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-110	高等学校	情報	社会と情報	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
7 実教	社情311	最新社会と情報 新訂版		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ・身近な題材を中心に学習要素を展開することにより, 学習内容に興味を持たせるとともに, 実感がわくように配慮した。
- ・教科書全体にわたり, 側注の NAVI コーナーで著作権, モラル, セキュリティなどに関する, 注意事項を解説しており, 常に情報モラルについて意識させることができるよう構成した。
- ・常に進歩している情報についての用語は普遍的な知識を中心に扱っている。また, 情報やメディアなどの多義語や情報社会特有の用語については, できる限り正確に意味付けするように配慮した。

### (1) 内容

- ・情報社会の中で, 生徒が, 被害者および加害者にならないように, 個人情報, 著作権, モラルなどについて, 身近で具体的な事例をあげながら, わかりやすく解説した。
- ・身近な情報システムやコンピュータなどについての仕組みを知ることにより, 知識に裏付けられた行動や判断ができるようにした。
- ・相手の状況や環境を配慮して, 誰もが安心して生活することができる社会に貢献できるような態度を養えるようにした。
- ・生徒の習熟度にばらつきが予想される表計算ソフトウェアを基本的な部分から扱った。
- ・情報モラルや統計処理などを扱っており, 他教科との連携を図れるように配慮した。
- ・ソフトウェアを利用する場面などでは, 具体的な画面を掲載し, わかりやすく解説をした。

### (2) 構成・分量

- ・学習指導要領で示された内容については, 高等学校での学習環境などの状況を勘案して, その掲載順序を一部変更した。
- ・モラルや個人情報, メディアに関する事など, 情報社会の中での心構えについて, 冒頭の第1章で必要十分かつ丁寧に取り上げた。
- ・各項目について, 知識と技能を関連付けて習得できるように, 関連ページを付記した。また, 身近な例を用いて展開することにより, 知識だけにとどまらず, 生活の中で問題解決に応用できるように配慮した。
- ・理論と実習のバランスがよくなるように例題を随所に設置した。例題の解説に「考え方」「考察」が適宜入っており, 学習内容に加え, 論理的な思考や客観的な視点を身に付けられるように配慮した。また, 例題のすぐ後に問題を設け, 繰り返しにより, 知識や技能を定着できるように配慮した。

### (3) 表記・表現及び使用上の便宜

- ・漢字をひらがなにするのではなくルビを振り, 英略語や英訳語をルビとして掲載している。
- ・巻末に章末問題の解答, 用語解説, 著作権法, 情報で使用する単位があり, 個に応じた学習や家庭学習にも柔軟に対応できるようにした。
- ・難しい仕組みや概念は, 図解やイラストでわかりやすく解説してあり, 視覚的に理解できるように配慮した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1章 情報社会と私たち		5-38 頁	( 1 1 )
1節 情報社会	(1) 情報の活用と表現 ア 情報とメディアの特徴 (3) 情報社会の課題と情報モラル ア 情報化が社会に及ぼす影響と課題	6-9 頁	1
2節 情報とメディア	(1) 情報の活用と表現 ア 情報とメディアの特徴 (2) 情報通信ネットワークとコミュニケーション ウ 情報通信ネットワークの活用とコミュニケーション	10-21 頁	4
3節 情報モラルと社会のルール	(3) 情報社会の課題と情報モラル ウ 情報社会における法と個人の責任	22-37 頁	6
2章 情報機器とデジタル表現		39-64 頁	( 7 )
1節 情報機器とデジタル	(1) 情報の活用と表現 イ 情報のデジタル化	40-45 頁	3
2節 デジタル表現	(1) 情報の活用と表現 イ 情報のデジタル化	46-63 頁	4
3章 表現と伝達		65-104 頁	( 1 7 )
1節 表現の工夫	(1) 情報の活用と表現 ウ 情報の表現と伝達 (4) 望ましい情報社会の構築 ウ 情報社会における問題の解決	66-75 頁	3
2節 表計算ソフトの利用	(1) 情報の活用と表現 ウ 情報の表現と伝達 (4) 望ましい情報社会の構築 ウ 情報社会における問題の解決	76-93 頁	7
3節 プレゼンテーション	(1) 情報の活用と表現 ウ 情報の表現と伝達	94-103 頁	7
4章 コミュニケーションとネットワーク		105-136 頁	( 1 4 )
1節 コミュニケーション	(2) 情報通信ネットワークとコミュニケーション ア コミュニケーション手段の発達 (3) 情報社会の課題と情報モラル ア 情報化が社会に及ぼす影響と課題	106-113 頁	4
2節 ネットワーク	(2) 情報通信ネットワークとコミュニケーション イ 情報通信ネットワークの仕組み	114-127 頁	4
3節 情報セキュリティ	(3) 情報社会の課題と情報モラル イ 情報セキュリティの確保	128-135 頁	6

5章 情報社会と問題解決		137-166 頁	(21)
1節 情報システムと人間	(4) 望ましい情報社会の構築 ア 社会における情報システム イ 情報システムと人間 (3) 情報社会の課題と情報モラル ア 情報化が社会に及ぼす影響と課題	138-145 頁	4
2節 問題解決	(4) 望ましい情報社会の構築 ウ 情報社会における問題の解決	146-157 頁	10
3節 情報発信	(1) 情報の活用と表現 ウ 情報の表現と伝達 (4) 望ましい情報社会の構築 イ 情報システムと人間	158-165 頁	7
		合計	70